

令和7年度年間指導計画・評価計画（美術）

福生第二中学校 第3学年

月	単元・題材名（時数）	目標	評価規準		
			知識・技能	思考・判断・表現	主体的に学習に取り組む態度
4 ～ 6	印象派の技法を味わおう（10）	<p>(1) 形や色、材料などが感情にもたらす効果や、造形的な特徴などを考え、印象派の制作方法を理解する。点描画や並置混色による表現方法を創意工夫して、制作の順序などを総合的に考えながら、見通しをもって制作を行う。</p> <p>(2) 自分が表現したいことなどから主題を生み出し、創造的な構成を工夫し、心豊かに表現する構想を練る。造形的な良さや美しさを感じ取り、作者の心情や表現の意図と工夫などについて考えるなどして、見方や感じ方を広げる。</p> <p>(3) 美術の創造活動の喜びを味わい、楽しく造形的な美しさを感じ取り、作者の心情や表現の意図と工夫などについて考えるなどの見方や感じ方を広げる表現や鑑賞の学習活動に取り組もうとしている。</p>	<p>【知識】 形や色彩などが感情にもたらす効果や、造形的な特徴などをもとに印象派の作風や並置混色について理解している。</p> <p>【技能】 自分の表現したいものの、並置混色の技法を活かし、意図に応じて工夫して表している。</p>	<p>【発想】 自分が表現したいことなどから主題を生み出し、創造的な構成を工夫し、心豊かに表現する構想を練っている。</p> <p>【鑑賞】 造形的なよさや美しさを感じ取り、作者の心情や表現の意図と工夫などについて考えるなどして、見方や感じ方を広げている。</p>	<p>【態表】 美術の創造活動の喜びを味わい楽しく表現の構想を練ったり意図に応じて工夫して表したりする表現の学習活動に取り組もうとしている。</p> <p>【態鑑】 美術の創造活動の喜びを味わい、楽しく造形的な美しさを感じ取り、作者の心情や表現の意図と工夫などについて考えるなどの見方や感じ方を広げる鑑賞の学習活動に取り組もうとしている。</p>
7 ～ 9	メッセージを伝える（5）	<p>(1) 効果的な伝達のデザインをするための方法を理解する。意図に応じて表現方法を創意工夫し、制作の順序などを総合的に考えながら、見通しをもって創造的に表す。</p> <p>(2) メッセージを伝える目的や伝える相手、内容や社会との関わりなどから主題を生み出し、作品の構想を練る。効果的にメッセージを伝える工夫などを考えるなどして、美意識を高め、見方や感じ方を深める。</p> <p>(3) 美術の創造活動の喜びを味わい、作品から、効果的にメッセージを伝える工夫を感じ取り、表現したり鑑賞したりする活動に主体的に取り組む。</p>	<p>【知識】 形や色などが感情にもたらす効果や、造形的な特徴をもとに、効果的な伝達のデザインをするための方法を理解している。</p> <p>【技能】 意図に応じて絵の具での表現方法を創意工夫し、制作の順序などを総合的に考えながら、見通しをもって創造的に表している。</p>	<p>【発想】 メッセージを伝える目的や伝える相手、内容や社会との関わりなどから主題を生み出し、絵や文字などの組み合わせの効果や、分かりやすさと美しさの調和などを総合的に考え、作品の構想を練っている。</p> <p>【鑑賞】 メッセージを伝えるデザインの調和のとれた洗練された美しさなどを感じ取り、効果的にメッセージを伝える工夫などを考えるなどして、美意識を高め、見方や感じ方を深めている。</p>	<p>【態表】 美術の創造活動の喜びを味わい、主体的に多くの人にメッセージが伝わるように工夫してデザインする表現活動に主体的に取り組もうとしている。</p> <p>【態鑑】 美術の創造活動の喜びを味わい、作品から効果的にメッセージを伝える工夫を感じ取る鑑賞活動に主体的に取り組もうとしている。</p>

9 12	箱の中に自分の世界を広げよう(13)	<p>(1) 形や色、材料などが感情にもたらす効果や、造形的な特徴などを考え、ボックスアートの制作方法を理解する。遠近法を活かした表現方法を創意工夫して、制作の順序などを総合的に考えながら、見通しをもつて制作を行う。</p> <p>(2)自分が表現したいことなどから主題を生み出し、創造的な構成を工夫し、心豊かに表現する構想を練る。</p> <p>(3) 美術の創造活動の喜びを味わい、楽しく造形的な美しさを感じ取り、作者の心情や表現の意図と工夫などについて考えるなどの見方や感じ方を広げる表現や鑑賞の学習活動に取り組もうとしている。</p>	<p>【知識】 形や色彩などが感情にもたらす効果や、造形的な特徴などをもとに、ボックスアートの制作方法を理解する。遠近法を活かした表現方法を創意工夫して、制作の順序などを総合的に考えながら、見通しをもつて制作を行う。</p> <p>【技能】 自分の表現したいものを、遠近法を活かし、意図に応じて工夫して表している。</p>	<p>【発想】 自分が表現したいこともたらす効果や、造形的な特徴などをもとに、ボックスアートの制作方法を理解する。遠近法を活かした表現方法を創意工夫して、制作の順序などを総合的に考えながら、見通しをもつて制作を行う。</p> <p>【鑑賞】 造形的なよさや美しさを感じ取り、作者の心情や表現の意図と工夫などについて考えるなどして、見方や感じ方を広げている。</p>	<p>【態表】 美術の創造活動の喜びを味わい、楽しく表現の構想を練ったり意図に応じて工夫して表したりする表現の学習活動に取り組もうとしている。</p> <p>【態鑑】 美術の創造活動の喜びを味わい、楽しく造形的な美しさを感じ取り、作者の心情や表現の意団と工夫などについて考えるなどの見方や感じ方を広げる鑑賞の学習活動に取り組もうとしている。</p>
1 ～ 3	墨で描く楽しさ(7)	<p>(1) 墨の性質や質感などが感情にもたらす効果や、余白の効果、造形的な特徴をもとに、墨の世界を全体のイメージで捉えることを理解する。</p> <p>墨の特性を生かし、意図に応じて自分の表現方法を追求して創造的にあらわす。</p> <p>(2) 墨の表現のさまざまな効果をもとに主題を生み出し、単純化や省略、強調などを考え、創造的な構成を工夫し、心豊かに表現する構想を練る。</p> <p>墨の表現の豊かさや余白により生まれる美しさを感じ取り、作者の心情や表現の意図と創造的な工夫などについて考えるなどして、美意識を高め、見方や感じ方を深める。</p> <p>(3) 美術の創造活動の喜びを味わい墨の効果を生かして作品を表現したり鑑賞したりする活動に取り組む。</p>	<p>【知識】 墨の性質や質感などが感情にもたらす効果や、余白の効果、造形的な特徴をもとに、墨の世界を全体のイメージで捉えることを理解している。</p> <p>【技能】 墨の特性を生かし、意図に応じて自分の表現方法を追求して創造的にあらわしている。</p>	<p>【発想】 墨の表現のさまざまな効果をもとに主題を生み出し、単純化や省略、強調などを考え、創造的な構成を工夫し、心豊かに表現する構想を練っている。</p> <p>【鑑賞】 墨の表現の豊かさや余白により生まれる美しさを感じ取り、作者の心情や表現の意団と創造的な工夫などについて考えるなどして、美意識を高め、見方や感じ方を深めている。</p>	<p>【態表】 美術の創造活動の喜びを味わい、主体的に墨の効果を生かして作品を描く表現の学習活動に取り組もうとしている。</p> <p>【態鑑】 美術の創造活動の喜びを味わい、主体的に墨の表現の豊かさや余白により生まれる美しさなどを感じ取る鑑賞の学習活動に取り組もうとしている。</p>